



令和4年度

第9回 吹田市地域公共交通会議

千里山地区等乗合交通試験運行に係る調査案

吹田市

I. 調査の種類



千里山地区等乗合交通試験運行にかかる調査内容(案)

	調査内容	調査目的
1	試験運行バス利用者数調査(データ整理)	どの停留所の利用者が多いのか少ないのか 等
2	試験運行バス利用者アンケート調査	利用者による試験運行バスの評価等
3	住民アンケート調査	地域住民へのPR、認知度と潜在需要の確認等
4	OD調査	どの停留所(乗車)から、どの停留所(降車)の利用が多いのか少ないのか等



今後の運行ルート、停留所及び運行内容等の検討における基礎資料

II. 調査の概要



1. 試験運行バス利用者数調査

運行事業者から得られる毎日毎便の利用者数データを整理・分析し、今後のルート及び停留所の検討における基礎資料とする。

表 試験運行バス利用者数調査概要

実施時期	試験運行バス運行期間(令和4年2月～令和6年2月)
調査対象	期間中全便
調査手法	試験運行バス・ドライバーによる各停留所の乗降者人数の記録
調査内容	毎日毎便の各停留所における乗降者人数の整理等

資料2 参照(試行運転開始～5月末分まで調査の集計結果)



2. 試験運行バス利用者アンケート調査

試験運行バス利用者に対するアンケート調査を実施し、利用状況、利用者の満足度、改善点、今後の利用継続意向等の調査結果を整理、分析し、今後の運行内容の検討における基礎資料とする。

表 乗客アンケート調査概要

実施時期	時期については、利用者数を確認しながら決定 ⇒ 現在9月初旬実施に向け準備
調査対象	調査期間中全便の乗客全員
調査手法	車内配布、車内回収または郵送回収 ⇒基本は調査員が聞き取り車内回収 ⇒すぐに回答いただけない方等は郵送回収も可能とする
配布枚数	500部程度
調査内容	・乗車回数 ・乗車目的及び乗車区間 ・試験運行バスの評価 ・本格運行した場合の利用意向 ・属性 等

参考資料2 参照



3. 住民アンケート調査

地区住民を対象に、試験運行バスのPR、及び試験運行バスを利用しない人の意向を把握するため、アンケート調査を実施し、今後の運行内容の検討における基礎資料とする。

表 住民アンケート調査概要

実施時期	時期については、利用者数を確認しながら決定する ⇒ 現在9月初旬実施に向け準備
調査範囲	千里山駅西側地域
調査対象	千里山駅西側地域の2000世帯に配布
調査手法	ポスティング配布・郵送回収
調査内容	<p>【試験運行バスに関する意向】</p> <ul style="list-style-type: none">・試験運行バスの認知度・試験運行バスの利用意向・利用した場合の評価・利用しなかった場合の理由 <p>【将来、千里山地区に乗合交通が本格導入されることに関する意向】</p> <ul style="list-style-type: none">・バスサービスが本格運行した場合の利用意向 <p>【属性等】</p> <ul style="list-style-type: none">・属性 等

参考資料2 参照



4. OD調査

試験運行開始後、平日・休日の始発から最終までのすべての便に調査員が乗車し、調査票を配布するとともに、バス停ごとの乗降客数、目視による属性等を調査し、整理を行い、今後のルート及び停留所の検討における基礎資料とする。

表 OD調査概要

実施時期	時期については、利用者数を確認しながら決定する ⇒ 現在9月初旬以降実施に向け準備
調査対象	平日、休日各1日の全便の利用者
調査手法	車内で利用者に調査券を配布し、降車する際に回収箱にて回収
調査内容	利用者(属性)の乗車バス停と降車バス停の把握 等

参考資料2 参照